

世界がモデルとする図書館を視察！  
ニューヨーク、フィラデルフィアの名門大学図書館や公共図書館、  
アメリカ図書館協会（ALA）年次総会に視る、図書館の最前線！

# ALA・米国図書館研修2025

■旅行期間：  
2025.6.26[木]～7.2[水]

■旅行代金：  
798,000 円

※国内外空港諸税、国内空港施設使用料及び燃油サーチャージが別途必要となります。

■申込締切日：2025.5.14 [水]  
〈催行人数 14 名〉

※募集企画のためお申し込み受付は先着順です  
※締切以降のお申込みは、追加代金が発生致します



研修詳細

## 研修日程

- 6月26日(木)
- 午後 ● 羽田から空路、ニューヨークへ
  - (日付変更線通過) ---
  - 午前 ● 着後、ガイドがお出迎え
  - 午後 ◆ ニューヨーク公共図書館（本館、スタブロス・ニアルコス財団図書館）  
【ニューヨーク泊】朝×昼×夜×
- 6月27日(金)
- 専用車にて出発
  - 終日 ◆ 国連ダグ・ハマースホルド図書館  
◆ ニューヨーク市立大学ハンター校図書館  
【ニューヨーク泊】朝×昼×夜×
- 6月28日(土)
- 午前 ● ニューヨーク市内にて自由時間
  - 午後 ● 専用車にてフィラデルフィアへ
  - ◆ フィラデルフィア市内の図書館等（調整中）  
【フィラデルフィア泊】朝×昼×夜×
- 6月29日(日)
- 徒歩にてALA年次総会の会場へ
  - ◆ ALA年次総会参加（展示視察、フォーラム・セッション参加、特別セッションなど）  
【フィラデルフィア泊】朝×昼×夜×
- 6月30日(月)
- 専用車にて出発
  - 午前 ● ペンシルベニア大学図書館
  - ◆ ラトガース・ニュージャージー州立大学図書館
  - 午後 ● 専用車にてニューヨークへ  
朝×昼×夜×
- 7月1日(火)
- 終日 ● ニューヨークから空路、羽田へ
- 7月2日(水)
- 早朝 ● 羽田着後、自由解散  
【機内泊】朝×昼 機内夜 機内

※この行程は予定であり、天候や交通事情、訪問先の都合により変更となる可能性がございます。  
※最寄りの空港から羽田空港までの国内線及び前泊・後泊を希望される方は、お申し込み時にご相談ください。



ニューヨーク



フィラデルフィア



ニューヨーク公共図書館（※）



ペンシルベニア大学フェイシャーファインアーツ図書館

※"New York Public Library" by JiahuiH is licensed under CC BY-SA 2.0. To view a copy of this license, visit <https://creativecommons.org/licenses/by/2.0/?ref=openverse>.

## 本研修のみどころ



世界最大の図書館協会であるアメリカ図書館協会（ALA）の年次総会（フィラデルフィアにて開催）に参加し、フォーラム、セッションや展示会場を視察するほか、本研修の特別セッションをご準備いたします。世界各国から参加する図書館関係者との対話や情報交換、ネットワーク構築の機会をご提供します。



2017年以降の滞在となるニューヨークでは、世界の公共図書館のモデルとなっているニューヨーク公共図書館の本館や、ビジネスセンターを擁するスタブロス・ニアルコス財団図書館、国連本部のダグ・ハマースホルド図書館を訪問する計画です。また、ニューヨークに本拠を置く都市型キャンパスを持つニューヨーク市立大学ハンター校、アイビーリーグに数えられるペンシルベニア大学や、パブリック・アイビーの一枚であるラトガース・ニュージャージー州立大学等の図書館視察を予定しています。



本研修では、現地図書館とのミーティングやバックヤードツアーも予定しております。これらの行程に通訳が同行いたしますので、安心してご参加いただけます。また、事前説明会の実施や訪問先の図書館に関する情報のご提供、研修後のフォローアップなどを行い、本研修を通して学びがより深まるよう、研修事務局がサポートいたします。

企画協力

図書館とともにすすめる まち・教育・情報の未来  
図書館総合展

MARUZEN-YUSHODO  
丸善雄松堂株式会社

旅行企画・実施 / お申し込み・お問合せ先

IWA TOURS

株式会社アイ・ダヴリュー・エイ・ツアー

本研修は、私立大学図書館協会の海外認定研修の助成対象です。詳細は、私立大学図書館協会ホームページをご覧ください。また、加盟館へは協会よりご案内がございます。

<http://www.jaspul.org/collegium/cat3/>



# 募集要項

■旅行期間：2025年6月26日(木)～7月2日(水)

■旅行代金：大人お1人様 (2名1室利用) **798,000円**  
※一人部屋利用追加代金：298,000円(税込全泊分)  
※プレミアムエコノミー席利用追加代金：お問合せ

■催行人数：14名様

■食事条件：朝食0回・昼食0回・夕食0回(機内食は除く)

■添乗員：全行程同行いたします。

■利用予定ホテル：ニューヨーク / アメリタニアホテル アットタイムズスクエア,  
フィラデルフィア / ベストウェスタンプラスフィラデルフィアコン  
ベンションセンターホテル 又は、同等クラス

■利用航空会社：日本航空 (JL) ※エコノミークラス

■お申し込み金：80,000円 (旅行代金に充当致します)

■募集締切日：2025年5月14日(水)

締切日以降のお申し込みには、追加料金が発生いたします。

## 【旅行代金に含まれないもの】

- 国内外空港諸税、国内空港施設使用料及び燃油サーチャージ
- 旅程表に記載されていない食事代、飲料代
- 旅券(パスポート)取得費用
- 個人経費、チップ代、電話代、クリーニング代等
- 超過手荷物料金、海外旅行損害保険
- ALA年次総会セッション参加費

## 【取消料】旅行条件は募集型企画旅行契約によります。

- 5/27(火)～6/20(金)まで…旅行代金の20%
- 6/21(土)～6/25(水)まで…旅行代金の50%
- 無連絡もしくは旅行当日…100%

## お申し込み方法

専用申込書にご記入の上、取扱旅行会社にお送りください。

※ファックスにてお申し込みいただく場合は、個人情報保護の観点から必ず着信確認をお願いいたします。

パスポートの顔写真欄のページも同様に送付をお願いいたします。

## ご旅行条件(必ずお読みください) ※詳しい旅行条件をご確認の上お申し込みください。

### ●募集型企画旅行契約

(1) この旅行は、(株)アイ・ダヴリユー・エイ・ツアー(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であります。この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

### ●旅行のお申し込みと旅行契約の成立

(1) 当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、お1人様につき下記の申込金を添えてお申し込みいただけます。

### (2) 申込金

a) 旅行代金が30万円以上120万円未満

50,000円以上旅行代金まで

b) 旅行代金が15万円以上30万円未満

30,000円以上旅行代金まで

c) 旅行代金が15万円未満

20,000円以上旅行代金まで

また、旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。

通信契約によって契約する場合においては、当社通信契約による旅行条件によって成立するものとします。

### ●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に記載された以下のもの

a) 航空機、船舶、鉄道、バス等利用運送機関の運賃・料金

b) 宿泊料金、食事料金、観光料金、研修費用。

c) お1人様スーツケース等1個の手荷物運搬料金。(お1人様20kg以内が原則となっておりますが、運送機関によって異なりますので詳しくは係員におたずねください。)

d) 団体旅行中の心付け、税金、サービス料

e) 添乗員付コースの場合は添乗員が同行するために必要な諸費用

### ●旅行代金に含まれないもの(その一部を例示します。)

超過手荷物運搬料金、クリーニング代、追加飲食費等個人的性質の諸費用およびこれに係わる税・サービス料金、日本国内の空港施設使用料、各国空港税、比国観等運送機関が課すその他の公的機関に変わって代受しているもの、運送機関の課す付加運賃料金(燃油サーチャージ等)、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、査証料、予防接種料金、渡航手続関係諸費用)希望者のみ参加されるオプションツアー、日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通費、宿泊費等

●取消料(日本出国時又は入国時に航空機を利用するコース)お申し込みの際、お客様の都合にて旅行を取り消される場合には旅行代金に対しておひとりにつき次の取消料をいただきます。

a) 「ピーク時」(4/27-5/6、7/20-8/31、12/20-1/7)に開始する旅行

b) 「ピーク時」以外に開始する旅行

ご旅行契約解除の日	取消料(おひとり)	
	a) ピーク時に開始するご旅行	b) ピーク時以外の日を開始するご旅行
ご旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日以内にあたる日以降31日以内にあたる日まで	旅行代金の10%	無料
ご旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日以内にあたる日以降3日以内にあたる日まで	旅行代金の20%	
旅行開始日の前々日以降旅行開始までの取消	旅行代金の50%	
旅行開始後の取消または無連絡不参加の場合	旅行代金の100%	

### ●旅行契約内容・旅行代金の変更

天変地異、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止など、当社の関与し得ない事由、運送機関の運賃料金の大幅な改定により、旅行内容、旅行代金を変更することがあります。なお、お客様の申し出により旅行内容の変更がある場合は、別途所定代金を申し受けます。また、運送・宿泊機関等の利用人員により旅行代金が異なる場合、お客様の都合により利用人数が変更になったときは、旅行代金を変更することがあります。

### ●特別補償

(1) 当社は、当社旅行業約款(募集型企画旅行契約)の特別補償規定により、お客様が企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の保証金及び見舞金を支払いますが、損害・疾病治療費については補償いたしません。

損害債務者が外国の運輸・宿泊機関等の場合、十分な補償が得られないこともありますので、お客様ご自身で海外旅行損害保険に加入されることをおすすめいたします。

### ●お客様の責任

(1) 当社は手配代行者の故意や過失によりお客様に損害を与えたときは、損害を補償します。

(2) 当社は次に明示する事由では、責任を負うものではありません。  
・天変地変、戦乱、暴動、運送・運輸機関等の事故・火災・遅延・不通による旅行内容の変更・短縮または中止

・盗難、自由行動中の事故、疾病などお客様の故意又は過失によって生じた損害

・官公庁の命令、伝染病、食中毒など

### ●旅程保証

旅行日程に重要な変更が生じた場合、その内容に対して旅行代金の15%を限度として変更保証金を支払います。対象となる変更の内容及び変更保証金の額は、当社旅行条件書によります。

### ●個人情報の取扱いについて

(1) 当社及び代理店(受託旅行会社)は、旅行申込みの際ご提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

(このほか当社では、「会社及び当社と提携する会員の商品やサービス、キャンペーンのご案内、旅行参加後のご意見やご感想のお願い、アンケートのお願い、特典サービスの提供、統計資料の作成においてお客様の個人情報を利用していただくことがあります。)

(2) 当社は当社が保有するお客様の個人データのうち、氏名、住所、電話番号又はメールアドレスなどのお客様へのご連絡に当たり必要とする最小限の範囲のものについて、当社国内支店・手配代行者とのあいだで共用し利用させていただきます。当社国内支店・手配代行者は、それぞれの支店の営業内、但し初回登録のご案内、ご購入いただいた製品の発送のために(※利用目的を具体的に記述) これを利用していただくことがあります。

(3) 当社は旅行先でのお客様の買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人データを土産物店に提出することがあります。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名等に依る個人データをあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの事業者への個人データの提供の停止を希望される場合は、「お申し込み時」又は「最終日程表」をお受取前までに当社までお申し出ください。

### ●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2025年1月1日を基準としております。また旅行代金は2025年1月1日現在有効なものとして公示されている航空運賃・料金または2025年1月1日現在観光庁長官に認可申請中の航空運賃・料金を基準としています。

国際情勢、渡航予定地における情勢などのやむを得ない事由により、研修を中止する場合がございます。また、訪問先の都合により、訪問予定が変更となる可能性がございます。

### ■共同企画

## 図書館総合展運営委員会

URL : <https://www.libraryfair.jp/>

Mail : [LF@j-c-c.co.jp](mailto:LF@j-c-c.co.jp)

## 丸善雄松堂株式会社

URL : <https://yushodo.maruzen.co.jp/>

Mail : [aps\\_bpd\\_contact@maruzen.co.jp](mailto:aps_bpd_contact@maruzen.co.jp)

TEL.03-6367-6055 FAX.03-6367-6162

### ■旅行企画・実施 / お申し込み・お問い合わせ先

観光庁長官登録旅行業第1051号



日本旅行業協会



ボンド保証会員

## 株式会社アイ・ダヴリユー・エイ・ツアー 東京支店

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-8-15 ケルビンビル 6階

TEL.03-6427-1577 FAX.03-6427-1561

担当：高橋 Mail: [k.takahashi@iwa-fuk.co.jp](mailto:k.takahashi@iwa-fuk.co.jp)

総合旅行業務取扱管理者：妹尾 遼

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明に不十分な点があれば、ご遠慮なく上記取扱管理者までお尋ねください。

世界がモデルとする図書館を視察！米国北東部の名門大学図書館や、公共図書館、アメリカ図書館協会（ALA）年次総会に視る、図書館の最前線！

# ALA・米国図書館研修2025のポイント

■研修期間：2025年6月26日(木)～7月2日(水)

■旅行代金：798,000円

※国内外空港諸税、国内空港施設使用料及び  
燃油サーチャージが別途必要となります。

■催行人数：14名

■予定訪問先：



## ALA(アメリカ図書館協会)年次総会

- 世界最大規模の展示会 ★
- 本研修限定の特別セッション ★

## ニューヨーク近郊の図書館

- ニューヨーク公共図書館 ★
- 国連本部ダグ・ハマースホルド図書館 ★

## ニューヨーク、フィラデルフィアの名門大学図書館

- ニューヨーク市立大学ハンター校 ★
- ペンシルベニア大学 ★
- ラトガース大学 ★

## その他

- ニューヨーク市内の書店 ほか

※日程詳細はパンフレットをご覧ください。  
※訪問先は現在調整中です。先方の都合により、訪問予定先が変更となる可能性がございます。

## ★ポイント1：世界最大の図書館協会ALAの年次総会を視察、各国から参加する関係者と交流する

ペンシルベニア州フィラデルフィアで開催される、世界最古にして最大の図書館協会であるALA(American Library Association、アメリカ図書館協会)の年次総会に参加します。ALA年次総会では、利用者サービスから著作権問題、図書館経営まで、多様なテーマを扱った2,000件近いフォーラム・セッションや、500以上の企業が出展する大規模な展示会が開催されます。これらの視察のほか、**本研修限定の特別セッション**をご準備いたします。**世界各国から参加する図書館関係者との対話や情報交換、ネットワーク構築の機会**をご提供します。

## ★ポイント2：米国北東部の名門大学図書館の職員とのミーティングやバックヤードツアー

世界がモデルとする大学における学生・研究者支援の最前線を視に、ニューヨークに本拠を置き、都市型のキャンパスである**ニューヨーク市立大学**や、アイビーリーグの**名門私立大学ペンシルベニア大学**、パブリック・アイビーの一角に数えられる**ラトガース・ニュージャージー州立大学**などの図書館を訪問予定です。**現地職員とのミーティングや見学ツアーをコーディネートし**、利用者サービスや空間づくりを視察するなど、本研修ならではの体験をご提供します。

## ★ポイント3：世界の図書館がモデルとするニューヨーク公共図書館や国連本部の図書館を見学

2017年以降の滞在となるニューヨークでは、世界の公共図書館のモデルとなっている**ニューヨーク公共図書館の本館**や、ビジネスセンターを擁する**スタブロス・ニアルコス財団図書館**などを視察予定です。スタブロス・ニアルコス財団図書館は、1915年に建設されたニューヨーク最古のデパートの建物を改装し、2021年にフルオープンを迎えました。また、本研修としては初めて、国連本部の**ダグ・ハマースホルド図書館**に訪問できる見込みです。

## ★ポイント4：私立大学図書館協会の認定研修助成対象

私立大学図書館協会の海外認定研修になっています。会員の大学に所属する専任職員様の場合は、研修へ参加し、帰国後、成果報告を行って頂くことで、**旅行代金の約半額の補助**が受けられます。  
※私立大学図書館協会webサイト(<http://www.jaspul.org/collegium/cat3/>)に詳細有り。



事前説明会の開催



海外の図書館や  
図書館界の情報提供



すべての視察に  
通訳が同行



研修後の情報共有や  
フォローアップ

### ★ニューヨーク市立大学ハンター校(Hunter College of the City University of New York, Hunter)

ニューヨーク市立大学は、ニューヨーク市の総合公立大学であり、米国で最も歴史のある公立大学群のひとつです。11校の四年制大学と6校のコミュニティカレッジ、大学院大学、そして専門大学院によって構成されています。

ハンター校は、アメリカ初の教員養成大学として1870年に創立しました。もとは女性教師を育成する学校でしたが、1964年から男性の受け入れも開始し、共学化しました。そういった背景から、女性の学生が多いのが特徴です。また、世界の104カ国から学生を受け入れています。主に、教育学、衛生学、看護学、社会福祉学などの学部が著名です。キャンパスは、高級住宅地のアップパーイーストサイドにあります。

ハンター校のメイン図書館であるクーパーマン図書館(Leon & Toby Cooperman Library)は、大学のイーストビルディング(East Building)の地上7階、地下2階を使用しています。クーパーマン夫妻の命名権付寄付などを得て、2010年代から改修が行われており、2024年までに第3期までの工事が完了しています。

この度の研修では、都市型キャンパスの新しい21世紀型大学図書館を見学し、最近の改修について、詳しいお話をお聞きする予定です。

### ★ペンシルベニア大学(University of Pennsylvania, U Penn)

ペンシルベニア大学は、フィラデルフィアに所在する1740年設立の私立大学です。米国北東部にある8つの私立大学を総称する「アイビー・リーグ」の一角で、全米最難関大学の一つです。19館の図書館を擁し、400名以上の常勤職員が働いています。

最も古い図書館の建物でありながら、現在も建築や美術史などのコレクションを収める図書館として使われている1891年竣工のフィッシャーファインアーツ図書館(Fisher Fine Arts Library)、1962年以降にメイン図書館として学生に様々なサービスを提供するヴァンペルト図書館(Van Perlt Library)や、人類学・考古学分野で世界最大級のコレクションを持つミュージアムライブラリー(Penn Museum Library)、最新の学習スペースなどの見学を予定しています。そのほか、世界各国の貴重なコレクションの概要や保存・管理・展示・活用等の取組みや、司書と学芸員、書誌学者の協働の体制や活動内容についてもお聞きする予定です。

### ★ラトガース・ニュージャージー州立大学(Rutgers University, Rutgers)

1766年創立のラトガース・ニュージャージー州立大学は、全米で8番目に古い歴史を持つ名門大学です。1867年に、ラトガース大学の外国人留学生第一号として福井藩士の日下部太郎が入学し、その後、およそ30年間で300名近くの日本人留学生が学びました。現在は、ニュージャージー州の3つの都市にキャンパスがあり、教育、研究のほか、医療提供でも同州トップです。

この度は、8つの図書館をもつニューブランズウィックのカレッジアベニューキャンパスで最も古いアレクサンダー図書館(The Archibald S. Alexander Library)を訪れ、2021年にオープンしたデジタルラーニングcommonsや、特別コレクション(明治のお雇い外国人であったウィリアム・グリフィスのコレクションを含む)を中心に見学する予定です。

また、ユニークな取り組みとして、デジタルヒューマニティーズの取組みや、健康科学分野におけるエビデンス統合の取組み等について伺うほか、資料のデジタル化プロジェクトや、学生が安価もしくは無料で教材を得られるように推進するOATプログラム(Open and Affordable Textbooks Program)等をご紹介いただく計画です。

### ★ニューヨーク公共図書館(New York Public Library, NYPL)

ニューヨーク公共図書館は、1911年に開館した本館をはじめ、92の地域分館と4つの研究センターをもつ、世界最大規模の公共図書館であり、世界中の図書館がその動向を注視しています。

本研修では、本館と、近くに建つスタブロス・ニアルコス財団図書館を見学し、最新の取組みについてお話をいただく予定です。スタブロス・ニアルコス財団図書館には、ニューヨーク公共図書館がもつ研究センターのうちの1つである、トーマス・ヨセロフビジネスセンターがあります。同館は、1915年竣工の百貨店建築を改築して、2021年に開館し、コロナ禍からの復活のシンボルとなりました。

### ★国際連合(UN)ダグ・ハマースキョルド図書館(Dag Hammarskjöld Library)

ニューヨークの国連本部にあるダグ・ハマースキョルド図書館は、1946年から、国連加盟国を支援するための調査および情報サービスを、主に常駐代表団の代表者と国連事務局職員に提供しています。また、国連の活動を広く知らせることを目的として、世界中の約350館を「国連寄託図書館」に指定しています。ただし、この制度は、情報環境の変化や国連資料のデジタル化が進んでいることなどを背景に、段階的に廃止するとともに、UN Charter Libraries Knowledge Networkを立ち上げる計画が、発表されています。

本研修では初めて訪問し、館の見学や、資料のデジタル化を含めた最新の取組み状況をお聞きする予定です。



① Hunter クーパーマン図書館

② U Penn フィッシャーファインアーツ図書館

③ NYPL 本館

④ 国際連合本部